

# 人権アラカルト

すべての人が、幸せになる権利を持っています。  
人権について、身近なこと、小さなことから、始めませんか？

## パトロール中は「ホタル」のように

自動車を運転中に、パトカーが赤色灯を点灯し、サイレンを鳴らしながら近づいてくると気づいたとき、あなたはどのような対応をしますか？

緊急走行だと理解して、自動車を道路の端に寄せて停車し、パトカーに進路を譲りますよね。

では、もしあなたが聴覚障害者で、サイレンの音を聞き取ることが難しいとしたらどうするのでしょうか。

聴覚障害者は、緊急時に鳴らされるサイレンの音を聞き取ることが難しいので、運転中にパトカーが近づいてくると、パトロール中なのか、緊急走行中なのか区別がつかず、とても不安になるそうです。このことは、全日本ろうあ連盟は2012年以降、赤色灯の見た目で見分けることができるように、警察庁に改善を要望してきています。

警察庁によると、全国のパトカーに搭載されている赤色灯は、緊急走行時とパトロール時で光り方は同じで、0.5秒間隔でチカチカと光るようです。そして、緊急走行時にはサイレンを鳴らすことで、パトロール時と区別しているそうです。

そこで、赤色灯の開発を担っている回転灯製造会社は、蛍火のようなゆったりとした光り方であれば緊急走行時と区別できると考え、パトロール時だけ2秒周期でぼんやりと発光する「ホタル」のような光り方を生み出しました。

この「ホタル」のように発光する新型のパトカー赤色灯が、今年度から各地で導入されます。まだ、この新型を見かけることは少ないかもしれませんが、今後少しずつ増えて、車を運転する聴覚障害者だけでなく、より多くの方が視覚的にも判別できるようになって安心して生活できる人が増えるといいですね。

